

梅津新聞

(近現代編①)

2020年
5月26日 火曜日

常陸太田市郷土資料館
(西二町 2186)
TEL:0294-72-3201

ちょっと昔のくらしを見てみよう

郷土資料館梅津会館には、土器や古文書のほかにも、ちょっと昔に使われていた道具も保管されています。それらの道具がどのように使われてきたのか、学芸員のミキさんに教えてもらいましょう。



はじめての「ちょっと昔」のミキさんです。昔は、博物館や美術館などで働く専門職のひとです。わたしは郷土資料館で資料を集めて保存したり、調査・研究や展示などを担当しています。これから、ちよつと昔のくらしについて楽しくお話ししましょう！

「ちよつと昔」っていつ?



ミキ:..ここでいう「ちよつと昔」というのは、江戸時代より後のことです。左の年号早見表の赤線より下、昭和時代中期ごろから、電化製品が登場します。

ミキ:..昔は今ほど便利な世の中ではなく、生活する中では大変なところもありました。だからこそ昔の人は、道具の作り方や使い方にたくさんの工夫をほどこしていました。

今わたしたちが使っている道具の多くは、たくさんの方の工夫がなされ、少しずつ進歩しながら今の形になったものばかりです。

そんな昔の道具が時代とともにどのように変わってきたのを見てみましょう。

江戸	戦前のくらし	~1867	~約150年前
明治		1868~1911	~約110年前
大正		1912~1925	~約90年前
昭和	元~20年	1926~1945	~約70年前
	21~29年	1946~1954	~約60年前
	30~48年	1955~1973	~約40年前
	49~63年	1974~1988	~約30年前
平成	戦後のくらし	1989~2019	
令和		2019~	

↑年号早見表

クイズ
昔のくらし
【問題編】

昔のくらしについて、クイズ形式
で楽しく学びましょう！



今日のおともだち
ユウコさん



ミキ：さて、まずは上の写真を見てみましょう。

ユウコ：これは知ってるよ！電話だよ。

ミキ：正解！「黒電話」といって、真ん中の数字の穴に指を入れて、ダイヤルを回して使います。昭和時代中期から後期にかけてよく使われていました。今でも使っている家もあるかもしれないですね。

ユウコ：わたしのおばあちゃん家にもあったよ。

ミキ：それでは、電話の歴史をたどる前に、クイズです。写真の3つの黒電話、見た目は似ているけれど、実は少しずつ進化しているんですよ。①から②、②から③、それぞれのよう

に進化しているのわかりますか？



正面アップ



側面



正面



こたえがわかったら、「解答編」を見てみましょう！



ヒント：各部をよく観察してみましょう。

うーん、どこかなあ…？

